

## みらい

No.3

主な内容

平成28年  
2月議会 6月議会  
要旨報告

討議資料

■発行責任者/渡部 英治 ■編集責任者/三浦 茂人

立葵(タチアオイ)/6~8月頃  
梅雨入り頃から花が咲きはじめ、上部の花  
が咲くと、梅雨が明けるといわれています。

## 今こそ、県政課題へ果敢にチャレンジ!

皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、先の2016参院選では、アベノミクスの継続を前面に打ち出した与党が勝利しました。

このことは、「景気や雇用などの経済対策」に最も関心が高いという世論調査からも明らかのように、「政治の安定」を望んだ結果ともいえます。

いずれにしても、歯止めのかからぬ少子化、新たな農政プランへの対応など、重要課題が山積している本県にとって、実感できる景気回復やTPP対策を含む農業振興に優先的な取り組みが不可欠であります。

とりわけ、県政の最重要課題である人口減少対策については、「若者の定着」や「子育て支援」等の重要施策に、今こそ、果敢にチャレンジする覚悟であります。

皆様には、引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。



平成28年2月議会 代表質問

秋田県議会  
会派みらい 代表 **渡部 英治**

## ねんりんピック

秋田からつながれ! つらなれ! 長寿の輪

第30回 全国健康福祉祭あきた大会

会期 平成29年9月9日(土)~12日(火)

ねんりんピック秋田2017

秋田県で開催決定!!

平成29(2017)年、  
節目となる第30回大会が  
秋田県で開催されます!©2015  
秋田県んだっちN0027主催 厚生労働省/秋田県/  
一般財団法人 長寿社会開発センター※詳細は、秋田県公式ウェブサイト「美の国あきたネット」  
にも掲載しています。

## ねんりんピック とは?

「ねんりんピック」の愛称で親しまれている「全国健康福祉祭」は、60歳以上の方を中心として、あらゆる世代の人たちが楽しみ、交流を深めることができるスポーツと文化の祭典。

厚生省創立50周年を記念して、昭和63年に兵庫県で第1回大会が開催されて以来、毎年開催されています。

# 2月議会

平成28年・第1回定例会  
2月15日～3月18日

平成28年度は、3年目を迎える「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」の考え方を基本に据えつつ、「あきた未来総合戦略」に基づく施策・事業を中心として、秋田の未来を切り開くための取り組みについて当初予算に計上されました。

## 当初予算の主な内容

- **航空機産業強化支援事業** …………… **857万円**  
航空機産業における県内企業の取引拡大やサプライチェーンの形成を図るため、加工技術の向上や販路拡大等に取り組む県内企業を支援する。
- **移住情報発信事業** …………… **8,790万円**  
首都圏に相談窓口を設置するとともに、多様なメディアや動画等を活用し、戦略的な情報発信を行う。
- **すこやか子育て支援事業** …………… **10億5,192万円**  
子育てにかかる経済的負担の軽減を図るため、乳幼児の保育料に対し助成する。(平成28年度から新たに第3子以降が生まれた場合、第2子以降の保育料を全額助成)

## 平成28年 一般会計 当初予算

# 6,005億2,500万円

- **あきた女性の活躍推進事業** …………… **361万円**  
女性の活躍を推進するため、経済団体等と連携して、女性の登用・起業に向けた支援や意識啓発を図る。
- **新多子世帯向け奨学金貸与事業** …………… **6,359万円**  
子ども3人以上の多子世帯向けの奨学金制度を創設する。
- **少人数学習推進事業** …………… **7億9,677万円**  
県独自に実施している30人程度学級を、新たに小学校6年生にも導入し、義務教育の全学年を対象にして展開する。

## 2月議会 代表質問



### 渡部 英治 [大仙市仙北郡]

- ◆ 知事の政治姿勢について
- ◆ あきた未来総合戦略について
- ◆ TPP対策について
- ◆ エネルギー政策について
- ◆ 空港の利活用について
- ◆ 未来を担う人づくりについて

## 2月議会 一般質問



### 土谷 勝悦 [横手市]

- ◆ あきた未来総合戦略について
- ◆ 農業問題について
- ◆ 訪口青年ビジネスチャレンジ事業について

## 2月議会 総括審査質問



### 三浦 英一 [由利本荘市]

- ◆ 農業問題について
- ◆ 奥羽・羽越新幹線の整備促進について
- ◆ 国道108号黒沢踏切周辺の渋滞問題について

### 三浦 茂人 [秋田市]

- ◆ 公共施設のあり方について
- ◆ 今後の県政運営について



### 東海林 洋 [湯沢市雄勝郡]

- ◆ 秋田県市町村未来づくり協働プログラムについて
- ◆ 市町村の行政人材の確保について
- ◆ 県営田沢湖スキー場の活用について

## 県外調査

〈石川県・富山県／平成28年5月9日～11日〉



- **石川県立音楽堂**  
… 複合的機能を持った文化施設の運営等について
- **石川県庁**  
… 石川県における北陸新幹線開業の効果について
- **羽咋市役所** …………… 羽咋市の農村振興について
- **農業法人株式会社神子の里** …農村振興について
- **クラシエ製薬 株式会社高岡工場**  
… 漢方薬売上日本一企業の取り組み等について

# 6月議会

平成28年・第1回定例会  
5月30日～6月17日

6月補正予算には、国の制度を活用した秋田の創生に向けた取組のほか、「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」に基づく事業、公共事業等について計上されました。

## 6月補正予算の主な内容

### 新 新世代航空機部品製造拠点創生事業

…………… **2億8,346万円**

産学官連携により航空機の構造物として使用される複合材の製造技術・検査技術の研究開発を行い、将来の航空機部品の製造拠点の創出を目指す。

### 新 秋田犬の里魅力アップ促進事業 … **1億9,952万円**

国内外で知名度の高い「秋田犬」を活用した観光誘客を図るため、市町村や民間事業者と連携し、受入態勢を整備するとともに、首都圏において集中プロモーションを展開する。

### 新 ウェルカム秋田！移住就業応援事業… **3,373万円**

農林水産業への就業を希望する移住希望者に対する情報提供、体験研修等を行う。

## 平成28年 一般会計 補正予算

**96億6,157万円**

補正後の規模 **6,101億 8,657万円**

### 新 「あきたテレワーク」による新しい働き方の普及支援事業 ……………… **367万円**

若者、女性、高齢者など「全員参加型社会」を実現させる手段の一つとして、テレワークによる新しい働き方の普及拡大を図る。

### 新 秋田のインバウンド誘客促進事業 …… **4億9,616万円**

海外からの観光誘客を促進するため、外国人旅行者に優しい受入態勢の整備を進めるほか、重点市場への集中観光プロモーションや東北各県と連携した取組を展開する。

## 6月議会 一般質問



### 佐藤 正一郎 [湯沢市雄勝郡]

- ◆ 秋田県地域防災計画について
- ◆ 中心市街地のまちづくりについて
- ◆ 新しい文化施設とアリーナ整備について
- ◆ 奥羽・羽越新幹線構想について
- ◆ 秋田の創生事業について
- ◆ 家畜伝染病「ヨーネ病」について
- ◆ 地域のインフラ整備について

### 三浦 茂人 [秋田市]

- ◆ 新たな世界遺産登録と観光振興について
- ◆ 新エネルギー関連産業について
- ◆ 中小企業振興に係る取組の成果について
- ◆ 地方創生の実現に向けた課題認識について



## 6月議会 総括審査質問



### 東海林 洋 [湯沢市雄勝郡]

- ◆ 地熱エネルギーの多面的利用について
- ◆ スポーツに関する支援制度のあり方について

### 丸の内 くるみ [秋田市]

- ◆ 野菜づくり推進方策について
- ◆ 県・市連携文化施設について



### 佐藤 正一郎 [湯沢市雄勝郡]

- ◆ 県・市連携文化施設について



## みらい 会派紹介

佐藤 正一郎	湯沢市雄勝郡	農林水産委員会 副委員長
東海林 洋	湯沢市雄勝郡	福祉環境委員会 委員長
土谷 勝悦	横手市	教育公安委員会
丸の内 くるみ	秋田市	産業観光委員会
三浦 英一	由利本荘市	福祉環境委員会／ 議会選出監査委員
三浦 茂人	秋田市	総務企画委員会
渡部 英治	大仙市仙北郡	建設委員会

(五十音順)

採決は是々非々のスタンスで!



# 渡部 英治の 県議会レポート

討議資料

今回は、2月議会での代表質問より、「TPP対策について」質疑の概要を報告します。

## ●農業問題（TPP対策）について

渡部

政府の「新たな輸入枠に相当する量の国産米を備蓄米として買い取るため、国内生産額への影響はない。」とする見解と「政府は生産量のことしか言わないが、コストや価格のことまで考えていない。試算は一面的な据え方だ。」と強調する生産農家との間では大きな乖離かいりがあります。

私はこれまで何度となく現場主義の徹底を唱えてきました。国のコメ政策大転換も見据え、直接知事が生産者と接する現場主義のもと、生産者の声を秋田県の政策に積極的に反映させるべきでは。

また、「米・麦・牛肉・豚肉・乳製品」へのTPPへの影響を抑制する方策も明確に打ち出すべきと考えますが、知事のご所見をお聞かせください。

知事

県では、協定の大筋合意を受けて、直ちに対策本部を立ち上げ、地域振興局が中心となっ

て生産現場を訪問し、約1,500戸の農家や関係団体等から、不安の声や要望を伺うとともに、有識者等からなる県民会議を設置し、県独自の対策大綱の策定を進めています。

私自身も、若手農業者やリーダーとして活躍している担い手のほか、農業団体や食品関連企業等の方々とも意見交換を行っており、生産現場の実情を踏まえ、必要な対策をしっかりと講じてまいります。

なお、TPP協定の発効や協定内容の完全実施には、一定の期間を要することから、今般策定する対策大綱を基本としつつも、情勢の変化に機動的に対応しながら、本県農業の成長産業化に向け、全力で取り組んでまいります。

2月議会 代表質問での再質問

## 建設委員会 県内調査より

由利・仙北地域振興局（平成28年7月20日～22日）



「地域を支える建設業の担い手確保・育成」  
についての建設業関係者との意見交換会

対象者／次の世代の経営者〈大曲仙北建友会〉



「斉内川（斉内工区）  
災害復旧事業」の現地調査

事業期間／平成27年～29年度